レッスン:SPA　No.75

テーマ：助けとしての創造のセル

SPA75/KE00/M9

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちはいつも主、絶対、主の聖性に抱かれています。

過去のレッスンで様々な素質的可能性のサイクルによって与えられるいろいろな助けについて述べてきましたが、それらのサイクルは創造の元型のなかにあり、その元型とは創造のセルのことであり、それは実際、人間のフォームなのです。

ですから創造のベースは人間のフォームです。そして人間のフォーム、人間のイデアというとき、それは私たちが今考えるような形、現象の諸世界における形ではありません。実際、それはフォーム、形の背後にある「法則」を意味します。その「法則」こそが不定形の諸体の再形成に向けて助けてくれるのです。私たちはその「法則」を助けとして使うべきなのです。それはそのなかにある他の小さな助けをマスターするのを助けてくれます。

しかし、自己実現に到達するためにはこの元型をマスターする必要があります。小宇宙的に私たちはマスターして、中宇宙的には最初の磔に到達する必要があります。しかし、もし私たちが中宇宙的に最初の磔に到達したなら、現在のパーソナリティーは中宇宙的にこの元型を完成させることができるのでしょうか？どう思いますか？答えはノーです。現在のパーソナリティーは、自己実現に到達したかどうかを特定するそのステートに留まらないだけではありません。なぜなら、現在のパーソナリティーの諸体をマスターすること、それには最終的に最愛のお方の助けが必要だからです。なぜなら、現在のパーソナリティーが４つ目のサイクルに入る時、つまりそれは大きなミステリーが始まったことを意味しますが、そのミステリーは最愛のお方によってのみ行われるからです。それは「火の洗礼」です。

ですから、洗礼が終わるためには、現在のパーソナリティーはエゴの様々な側面を殺す必要があります。それが完全に終わった時、その時初めて現在のパーソナリティーは自己実現したものとなり、つまり現在のパーソナリティーの諸体は法則に従って完全に再形成されるのです。どの法則でしょうか？「元型」としての法則、人間のイデアの元型です。しかし同時に、それは全体としての「創造それ自体のアークエンジェル的元型」でもあります。

そしてそれを助けるのは最愛のお方であると言いましたが、それはリアリティーです。なぜなら、現在のパーソナリティーが３つめのサイクルを完成させると、いわゆる超感覚を使って自らを現し初め、徐々にゆっくりといわゆる超意識的意識のセルフ・エピグノシスを現し始めるからです。そして現在のパーソナリティーが４番目及び５番目のサイクルを完了すると…なぜなら５番目は自動的に完了するからです。４および５番目のサイクルを現す三角形、それは現在のパーソナリティーの大きな三角形のなかにある小さな三角形であり、それは前にレッスンで述べたように、その上にある三角形と同一形であり同じ底辺を共有しています。実際この三角形が現在のパーソナリティーを現在のパーソナリティーを活性化するスパークとつないでいるのです。そのスパーク、それは他の誰でもない主です。モナドとしての主でしょうか？違います。多重性としての主であり、主は「生の海」です。そうです、私たちにとって主は「モナド・セルフ」に見えますが、実際は多重性であり、それは全ての人、全てのものの中にあり、創造界にあるもの、創造界に現れているもの全てを活性化しています。

Page2

ですから最初の磔に到達した現在のパーソナリティーがいて、それは中宇宙的にそのステートに留まることはできず、しかし最愛のお方が行くことができる所には行くことができるのです。しかし、その現在のパーソナリティーはそうするでしょうか？答えはノーです…聖なる神の目的がない限りは。もし他の惑星、それがこの太陽系であれ、諸宇宙内のどこであれ、もしそこを訪れる聖なる目的があるなら、イエスです。そこに行くでしょう。現在のパーソナリティーはそこに行くことができます。そうするためには現在のパーソナリティーはサイキカル体、そして低次ノエティカル体を高次ノエティカル体（それはスーパーサブスタンスの波動ですが）に融合、同化させる必要があります。その時初めて自己実現した現在のパーソナリティーは宇宙内のどの天体をも訪れることが可能となります。

さて、月を訪れるにはそうする必要はありません。自己実現した現在のパーソナリティーは簡単に月を訪れることができます。しかし、同じように聖なる目的がなければなりません。しかし前に述べたようなプロセスは必要ありません。なぜなら、月のサイキカル体と地球のサイキカル体がつながる時があるからです。そして自己実現した全ての人間は月を訪れます。なぜならそれは不可視のヘルパーの義務だからです。自己実現に到達した人は全て自動的に不可視のヘルパーとなります。

ですから、小宇宙的に私たちは全体をマスターする必要があります。小宇宙的に全体をマスターすることによって、中宇宙的に私たちは到達します。つまり中宇宙的に最初の磔に到達するということです。さて、大宇宙的には、現在のパーソナリティーがたとえ存在のステート、存在の諸世界、生の諸世界に入ることが可能となっても、現在のパーソナリティーはそこには入らずに、転生のサイクルに留まるでしょう。他の同胞の人間たちを助けるためです。

ですから、小宇宙的に言えば、私たちは創造のセルの全体の状態をマスターする必要があります。中宇宙的には最初の磔までです。大宇宙的に言えば、素質的可能性はそこにあるのですが、他のバイブレーションへの入り口の下に留まることでしょう。「魂」(Soul)にとって中宇宙的には何でしょうか？そのポジションとテオーシス（＊神との再合一）の間にステートがあるのでしょうか？違います、そのポジションからは、「魂」が立っている場所と私たちが「at-one-ment」(\*主体と客体が統合された状態で、両者の間の分離が克服されている)と呼ぶステートの間には何もありません。

ですから、小宇宙的にはそれは「魂」です、しかし小宇宙的にと言うときそれは私たちと同じではありません。なぜなら、私たちの小宇宙には限界があるからです。なぜなら「魂」(Soul)にとっていかなる限界もないからです。なぜなら、そこにはいわゆる同化があるからです。全ては同時に全てのなかにある状態です。「魂」(Soul)に対して私たちは今小宇宙的にどう言うことができるでしょうか？それは全体のなかのモナドなのですが、同時にそれは全体なのです。それは人間の理解を超えています。しかし、とにかくそれはそれらのリアリティーに対するアプローチの問題です。「魂」(Soul)が「魂」(Soul)の世界、存在の世界にいる時には、「魂」(Soul)はスパークのなかに完全に入ることはできません。神の黙想が始まるようにスパークは最初の一押しをし、そして創造と現れのための神の黙想であるステートに入るのです。

そうです、「魂」(Soul)はこのステートあるいはあのステートに入ることはできません。それでは「魂」(Soul)にとって大宇宙とは何でしょうか？それは「at-one-ment」、つまりテオーシスです。それは創造のセルをマスターすることでしょうか？違います、それはマスターするという問題ではなく、スピリットが全体との分離を認識することです。何が生じているかと言うと、「魂」(Soul)がそのモナド・セルフの別の色をスピリット・セルフに与えているのです。「魂」(Soul)にとってそれはマスターするという問題ではありません。なぜなら、「魂」(Soul)とは実際に神なのですが、それはそれ自身の全体ではありません。「魂」(Soul)は「スピリット」(Spirit)のスパークなのです。

ですから、探究者が部屋のなかにいる間にこの元型を使います。現在のパーソナリティーが部屋のなかにいる時にはこれらの限界を認識することはできません。援助のための助け、それは「創造のセル」なのです。現在のパーソナリティーはこのセルを身に纏いますが、前に述べたようにこのセルは保護シールドではありません。それは純粋なる助けであり、部屋のなかにいる現在のパーソナリティーを助けるものです。徐々に少しづつ他の全ての様々な助け、様々なタイプのピラミッドをマスターする助けとなります；四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッド。そして勿論その結果現在のパーソナリティーが一面ピラミッドを現すようになるために。一面ピラミッド、それは全方向に広がる意識を意味します。それが一面ピラミッドであり、それは回転ピラミッドです。それは三面ピラミッド、五面ピラミッドの回転の結果です。

たくさんのエクササイズが必要であり、特にあなたがこの元型のなかにいることを認識する必要があります。説明したようにこの元型の主なパートは実際３つあります；主なパートは３つと言う時、現在のパーソナリティーにとって３つという意味です。なぜならこの三角形と次の部分、つまり長方形を私たちは一つと見なしているからです。それを分けるようなことはしません。後には分けるかもしれませんが、少なくとも今のところは分けません。

ですから、ここまでが１つのパートで、もう一つはそれに続く長方形です。そして３つめは一番下の大きな三角形です。現在のパーソナリティーはこれら３つの部分を身に纏う必要があります。そして前にも述べたように、あなたの身体の様々な器官がこの法則で定義された聖なるセンターにマッチしなくても心配する必要はありません。なぜなら、それは法則だからです。特にエーテルの心臓、あるいはハートに関しては。肉体の肺と甲状腺の間には、他の器官があるでしょうか？現象的には器官は何もありません。それはこのステートでアプローチ不可能な部分ですが、非常に重要なのです。なぜなら、このステートなくしては「創造界」は存在しなかったことでしょう。私達の肉体のこの部分にも同じ事が言えます；ここで生じていることなしでは、肉体は存在しなかったことでしょう。

ですから、甲状腺とこのポジション、そこには線があってそれが２つの肺とつないでいるのです。そして勿論、この長方形は肺からこのポジションまでです。その線は肝臓と脾臓をつないでいます。そして真ん中に心臓があります。注意して聞いてください。繰り返します。あなたの肉体には様々な器官があり、それは法則つまり「創造界の元型」と関係しています。同じ事がここから下に関しても言えます。肝臓と脾臓の下には、大きな三角形があり、その頂点はクンダリーニです（＊下の頂点）。

さて、この元型のなかで自分自身を見るのを助けるエクササイズがあります。他にもたくさんのエクササイズが続きます。そして過去に（最近の過去ではなく）与えられた沢山のエクササイズの効果と重要性をここで認識することでしょう。

**SPA/75 エクササイズ１**

目を閉じて座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白に包まれている自分をイメージし、自分の境界を感じます…自分の部屋（それは現在のパーソナリティーの墓なのですが）の真ん中に立っている自分を見ます…あなたは自分の知っているステートのなかにいます。それはもや、霧のかかった状態であり、そのために自分の無知の境界を見、認識することができません…五感を使ってもこの部屋のなかをはっきりと見ることができません…

それではあなたの現在のパーソナリティーの３つの太陽を活性化します。太陽神軽叢から全方向にホワイトブルー（＊薄い水色）の光が放たれ、それらの光が部屋全体を満たしています…あなたのエーテルのハートからはホワイトピンクの光が全方向に放射されて部屋全体を満たしています…あなたの頭の中心からは金色の光が全方向に放射され、それら３つの太陽は完全に活性化されて、その光であなたが今いる場所、現在のパーソナリティーの部屋を照らし出しています…それらの光の結果として、あなたは今見ることができます。あなたの視力を使って今部屋の４つの壁から異なった光が来ているのがわかります…正面からは白い光、右からは赤い光、背後からはホワイトブルー、そして左からはウルトラバイオレットの光です…あなたの部屋の４つの壁から４つの光が放射されています…さて、あなたの頭の太陽から放射されている金色の光から大きな三角形が形成され、肩の少し上に底辺があり、この大きな金色の三角形があなたの頭を包み込んでいます…あなたの頭はこの光のなかにあります…あなたのハートの太陽からは長方形が形成され、ホワイトピンクの光の長方形が形成されています…太陽神軽叢からは下向きの大きな三角形が形成されており、その色はホワイトブルーです…今、あなたの身体は完全に創造界の元型の３つの基本的な色で包まれています…重要なのは身体なので、両腕と両脚は心配しないでください。今あなたはこの元型のなかにいるので、部屋のなかを詳細に見ることができます…それを感じ、その違いを感じることができるようにそのステートに留まります…あなたが今いるこのステートが常に続くように願います、特に様々な素質的可能性のサイクル、特にあなたが今いるサイクルにおける他の助けをマスターしようとしている間は。これは最愛のお方から与えられたフォームです…あなたの諸体が徐々にゆっくりとこのフォームを帯びるようになることを願います。

アガピおよび最愛のお方の祝福があなた、あなたの愛する人々、あなたの家庭、そして全世界と共にありますように。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

質問：質問があったのですが、瞑想中、エクササイズの最中にあなたが答えてくれたので今は質問はありません。

Ｋ：いずれにしてもこの元型はその創造界の中に全てがあります。最大のなかにも最小のなかにもです。そして過去に述べたように、あなたはこの原子のなかで与えられたのと同じフォームに完全に合致しているわけではありませんが、何であれ法則が見いだされます。

しかしなぜ人間の身体はこれに非常に近いのかわかりますか？人間と他の生命体との違いは何でしょうか？なぜ人間の身体はこのフォーム（＊元型）、つまり天上人によって与えられたこの法則に近いのでしょうか？答えは、人間には「生それ自体」のあらゆる可能性があるからです。他の生命体にはそれがありません。そして「生」が無知のなかに入るのを可能としたのもまたこのフォーム、元型なのです。何をしてそれを助けたのでしょうか？現れを定義する形は、そのステートではそのフォームを維持しません。もし私達がそれらの無知の限界から自由になることを欲するなら、つまり生の特質を完全に現さないという限界から自由になることを欲するなら、私たちはそのフォームに合致していない諸体を再形成する必要があるのです。そうすることによって生は徐々にゆっくりと「生それ自体」を現すようになるでしょう。

私たちにはそのような素質的可能性があります。なぜなら現在のパーソナリティーとしての私たちは直接に「生それ自体」から来ており、「生それ自体」は私たちの中にあるからです。私たちは私達の生の息吹ではなく、創造物でもありません。私たちは生の現れなのです。それが人間と動物、あるいは植物界との違いです。

人間と他の生物界に関する見方には多くの混乱があります。なぜなら、それらは私たちが前に述べたようなリアリティーに到達することができないからです。彼らは進化の別の梯子を昇ることができません。意識の梯子、いわゆるヤコブの梯子です。現在のパーソナリティーは徐々にゆっくりとアークエンジェル的ヒポスタシス（＊状態）を現し、そしてまたゆっくりと生の他の現象を創造することができるようになるのです。動物界や植物界です。

Page5

現在のパーソナリティーは自分自身の息を与えることによって犬、馬、木など何であれ

創造できるようになるでしょう。アークエンジェルたちが与えているようにです。全ての種目はアークエンジェルの黙想の結果として存在しています。そしてあなた方も黙想することによって何であれ創造することができるようになるのです…最初の磔に到達したときに、自己実現に到達した時に。その時、あなた方はいわゆる創造エーテルを使うことができるようになり、生命体、生きている存在を創造できるようになるのです…それらの息を吹き込むことによって。それらの他の一部として；他の何でしょうか？あなたが投射することができる他の同一体の一部として。実際にはそれらは創造物ではなく、あなた自身の一部が生の多重性、多様性を現しているのです。

それについては多くのレッスンで述べてきました。生の主な特質とは多重性・多様性です。あなたはより大きく、あるいはより小さくなることなしに同時に多くの場所に存在することができるのです。あなたのアガピを与えるために、助けを与えるために必要な数の同一体を持つことができるのです。そしてまた１つに戻ります。あなたの同一体であるそれぞれがあなたなのです。これがオリジナルで、あれは投射であると言うことはできません。全てがオリジナルです。それら全てはモナドとしてあなたなのです。

質問がありますか？

Ｑ：何の目的で息を吹き込んでそれらを創造するのですか？

Ｋ：聖なる神の目的がある時のみ、そのような事を行います。不可視のヘルパーの仕事は注意を惹きつけるためにするのではありません。そしてそれらのバイブレーションのなかであなたが助けを与えるためには、触知できるようにバイブレーションを下げる必要があります。そして時には、あなたは何かを創造する必要もあります。

勿論、過去のマジシャンたちは現象を起こすためにそれをしばしば行っていました。不可視のヘルパーが行うのとは完全に反対の目的で。しかし、今ではそれはもはや許されていません。創造的エーテルを扱う能力は消えています。しかし、マジックの実践を通じてまだ残っていますが、昔ほどではありません。人類の全体的気づきのレベルが非常に低かった時代において、人間が理解したのはパワーとは現象でした。それらは当時の人間が知っていた唯一の言語だったのです；それゆえにファラオや地球上の様々な種族の長がたくさんのパワーを現していたのです。

Ｑ：月は死んでいる惑星だと聞いています、つまり生命体が存在していません。生命がない月になぜ不可視のヘルパーは行くのですか？

Ｋ：死んだ惑星などというものはありません。生はあらゆる所にあります。私たちが「宇宙」と呼ぶ、様々な天体の間の空間にも生は存在しています。それらの空間でさえ死んだ空間ではありません。月は地球上の人間に奉仕しています。月は大きな役割を行っています。月は実際に病院なのです。それはある種の人間を隔離する病院なのです。アンバランスなステート、つまり混乱している人間、そのために他の人々にとって非常に危険な人間、既に他の人々に多くの苦痛をもたらした人間を隔離する場所であり、いわば最大の病院、懲罰の場所です。それが月なのです。月にはたくさんの生命があります。この形ではありませんが、サイコノエティカルなステートで。もし誰かが肉体を去って他のバイブレーションに移行した時、もしその人が今述べたような類の人間なら、その人は月に連れて行かれます。期間は？それはその人次第です。そのようなステート、そのようなバイブレーションにおいては時間、さらには空間という意味さえもありません。

ですから月は地球にとっての病院です。そして月と地球の間には一ヶ月のうちの特定の期間のみ橋が架けられ、地球から月に行くことができ、その他の期間には橋は切り離されます。そのためにそれは大きな役割を演じるのです。なぜなら、それらの隔離されたパーソナリティーは逃げられないのですが、橋が架けられている期間に逃げ出そうとします。

Ｑ：不可視のヘルパーたちはそれらのパーソナリティーたちをエスコートして月に連れて行くのですか？

Page6

Ｋ：そうです。不可視のヘルパーがこの世界の現在のパーソナリティーであれ、あるいは他のバイブレーションにおける現在のパーソナリティーであれ、不可視のヘルパーはそれらの人間がそのステートに入るのを助ける役割があります。次の転生の準備をするためにそこに入る必要がある人々を助けるためです。

Ｑ：もし肉体を去ったパーソナリティーが他の人間達にとって害をもたらすとして、もし橋が架けられていない時だったらどうなるのですか？

Ｋ：彼らは眠りのステートに入ります。時には早く目が覚めてしまう人いますが、そのためにいわゆるエーテル界に残っているパーソナリティーがいるのです。エーテル界にはいつも非常に多くのパーソナリティーたちがいます。それゆえにテンカンという症状、身体に痙攣という症状が起きるのです。ですからテンカンは月と関係しています。

エーテル界のなかの低いバイブレーションにいるパーソナリティーは意識的に何かをしようと考えずに他の肉体を支配しようとします。高熱とかテンカン症状で肉体とサイコノエティカル体の結びつきが弱い身体を見つけて入ろうとします。すると相手は痙攣という症状で反応します。痙攣は侵入者の体を振り払おうとする努力なのです。

Ｑ：精神分裂症も同じような理由ですか？

Ｋ：精神分裂症は違います。それはサイコノエティカル体との結びつきが弱いのではなくて、サイキカル体とノエティカル体の間のアンバランスです。サイコノエティカル体との結びつきが弱い人は、アンバランスなパーソナリティーだということではありません。サイコノエティカル体との結びつきが弱くても、完全にバランスの取れた素晴らしい人もいます。コネクションが弱いということは、アンバランスとかその人の進化レベルとは無関係です。

Ｑ：何が結びつきを弱めるのですか？

Ｋ：その原因ですか？与えるあるいは受け取るという体験以外の何があるというのでしょうか。しかし通常は、それは与えるためです。

Ｑ：ドラッグの使用は結びつきを弱めますか？

Ｋ：はい、しかし結果は異なっています。結びつきが弱いと意識が潜在意識のなかに飛び込むようになります。特にイリュージョンの世界に。そのために人々はドラッグを使用するのですが、次第に美しい幻想、イリュージョンは地獄へと変わっていき、それだけでなく地獄から抜け出せなくなります。そのダメージはその時一度の転生だけでなく、数回の転生の間続きます。そのために両親が一度もドラッグに手を触れたことがなくても、生まれつきドラッグ中毒の赤ん坊が生まれてくることがあるのです。残念ながら、そこから回復するには数回の転生が必要となります。

Ｑ：それもまたそのパーソナリティーの学びのプロセスなのですか？

Ｋ：そうです。私たちは誰でもレッスンを受け取り、レッスンを提供するためにここにいるのです。私たち全員が生徒であり同時に先生でもあるのです。

EREVNA SPA75/KE00/M9